



東京慈恵会医科大学

2025年 2月 11日実施

- Ι.
- 1. (A) 4 (B) 2 (C) 1 (D) 2 (E) 3
- 2. 3
- 3. 1
- 4. 2
- 5. 3

[解説]

- 1.
- (A) and の等位接続から,否定的内容が来ると考えられる。
- (B) be subjected to A「A〈審理など〉を受けねばならない, 必要とする」の用法を問うている。
- (C) refer to A as B から, an inflammatory clock と同義が入る。
- (D) This に着目。また, proxy for A「Aの代理」という前置詞との相性も根拠となる。
- (E) be implicated in A「Aと関係がある」。related の場合, be related to となる。
- 本文全体の趣旨に合致するのは3である。本文の出典もヒントになる。2は general health が 誤り。
- 3. 第7段落2行目~3行目に合致する。4は shows a person's true age が誤り。
- 4. 第8段落最終文に合致する。
- 5. 第 12 段落と合致する。heart health が cardiovascular deterioration からの言い換えである ことがポイント。
- ${\rm I\!I}\,.$
- 1. (A) 1 (B) 4 (C) 2 (D) 2 (E) 3
- 2.2
- 3. 2
- 4. 3
- 5. 1

[解説]

1.

- (A) 幼少期の記憶に関する研究が,特定の結果を「~を示した」ということであるので,1.「~を 立証した」が適する。
- (B) 今回の研究が「実証的」に結果を示したということであるので、4.「実証的な」が適する。
- (C) 実験において親が子どもに質問をして、出来事を振り返るように「促した」ということであり、2.「~を促して」が適する。
- (D) 年長の子どもの方が、思い出せる記憶は少ないが、覚えていた記憶はより詳細になったという実験結果から、記憶を 2.「~を詳細化する」が適する。
- (E) 記憶を定着させていくためには、自我という意識が芽生えると同時に、自分の「視点」は他者 のそれとは異なることが必要であるという文脈から、3.「視野」が適する。

- 第2段落第3文に、due to their inappropriate sexual nature が原因で、人々は幼少期の記憶 を repressed すると書かれており、それを言い換えたのが2.「それが気持ちを乱すために幼少 期の記憶を忘れてしまうのだろう」である。1.は一見正しいが、Children blocked <u>their</u> memories と、「子どもが彼ら(=people)の記憶の邪魔をした」とある点が不適切である。
- 3. 第3段落最後から2番目の文で,会話における a child's lead「子どもの主導権」があった場合の方が子どもの記憶に残ったと述べられており,2.「子どもに会話の主導権を持たせること」が適する。
- 4. 第4段落の引用文において、「驚くべき発見は」と述べられており、それは、年長の子どもの 方が思い出せる出来事の数は減るものの、現に思い出せた記憶はより詳細なものになっていた ことが述べられており、それを言い換えたのが3.「子どもが成長するにつれて過去の記憶が復 活しがちであった」である。1.「幼少の子どもの方が年長の子どもよりも覚えている出来事が 多い」は、内容は正しいものの、実験の結果判明した unusual「奇妙な」ことではないと判断 した。
- 5. 第5段落第2文で, More advanced language skills も記憶定着に必要であることが述べられ ており,そのことを言い換えたのが1.「年長の子どもは幼少期の出来事を記憶するのに役立つ, より充実した語彙力を持っているから」である。

Ш.

A. 4 B. 3 C. 4 D. 1 E. 1

X. (例) of utilizing human tissue for helpful purposes

Writing Question:

(解答例 1)

I think medical or scientific research using human tissue should be allowed on the following three conditions. The first condition is that it does not interfere with the privacy of the person that the tissue belongs to. For if some scientist uses someone's tissue without the donor knowing it, it might bring some trouble when he finds it, and those who do it may be sued by him/her. The second condition is that the person who offers the tissue is clearly informed of the object of the research. Without the notification of the purpose of the research, the person will have trouble deciding whether he should offer his tissue or not. Finally, the third condition is that the research brings benefits not only to many people who, without such research, would have no choice but to wait for their death hopelessly, but also to the very person who willingly offered the tissue. I think this third condition should be met because the benefit the research brings should be shared with those who will be saved from whatever illness concerned in the distant future and the person who bravely offers his tissue for the sake of the development of medicine.

(199 words)

(解答例 2)

As in the case of iPS cells, I think it should be allowed to take your own normal tissue and use them for treatment of some diseases in your later stage of life. The article discusses the danger of exploiting human tissue as something having commercial values without consideration for the dignity of the owner. Certainly, as each of us is a being with an irreplaceable life, we should avoid desecrating any part of the human body without the consent of its owner. However, such a problem arises from the idea of using one person's tissue for someone else. If you only used your own tissue for yourself, the above would not be a problem. Furthermore, since it is your own tissue, it is also an advantage that there is a lower risk of rejection than if you were using someone else's tissue.

(143 words)

[解説]

- A. 4. This ought to be an exception「これは例外であるべきだ」
 空所直前で,資本主義的な市場システムに対して肯定的評価をしている反面,空所直後では you don't want to invest property rights in human beings と否定的な内容が続くことから、人間の場合は exception「例外」であるのだと考える。
- B. 3. becoming controversial 「論争の的になっている」
 直前の文で, Why not, then, view the body as a useful and exploitable resource ... と, 人体 組織の利用について肯定的な問題提起を行ってからの流れであるので, 空所にも同類の,「ど うして人体組織の……が論争の的になっているのだろうか」という問題提起が来ると判断する。
- C. 4. without reference to the individual 「個人への照会なしに」
 直後に等位接続詞 or を挟んで consideration of his or her personal desires and social needs
 とあることを踏まえ, without の句を補えば,「~も…もなしに」という,いずれも個人の尊厳
 を無視した行為であることを指摘した一節が成立する。
- D. 1. the venture capital necessary to support「~を支持するのに必要な事業資金」 空所後ろに costly research「高価な研究」があることから容易に判断できる。
- E. 1. a sacred part of the human inheritance「人間の遺伝の神聖な一部分」
 主語が tissues and genes であること,直前の the essence of an individual「個人の本質」と
 等位接続詞 and で結ばれていることに着目し、並列することで文意が成立するものを選ぶ。
- X. 本文の論旨と適合する内容であれば広く認められると考えられるが、問いの条件に"fewer than eight words"とあることから、7 語以内に収めなければならないことに要注意。

Writing Question:

人体の組織を,どのような医学的・科学的目的に使用するのであれば許容されるべきであるか, 自らの意見を論述するもの。本文での議論を踏まえて具体的に論じよう。 【総評】

大間構成・出題形式ともに昨年度とほぼ同一であるが、文章量が大幅に増加した。それに伴って 処理速度を上げなければならず、すべての問いに手が回らなかった受験生もいるのではないか。 順天堂のように、問いに関連する箇所だけを局所的に参照して解答したいところだが、前後の文 脈をしっかり押さえないと意味がとりづらい箇所も多く、うわべだけの読解では誤答に至る可能 性が高い。相変わらず語彙レベルも高く注も付されないうえ、問いも絞り込みが困難なきわどい 選択肢のオンパレードで、今年の医学部入試の中でも屈指の難易度である。YMS 生にとって唯一 の救いとなったのは、大問Ⅲの文章が「医学部への英語長文」テキストの 20.「人体材料」とまっ たく同一のテーマであったことである(同じ出典を参照していると見られ、一部段落はテキスト の本文ママの出題であった)。一次通過ラインは 55%程度か。

